

# 自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号  
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251  
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2012 5.10  
No.1048

発行責任者 柳 進 定価 10円  
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

機関紙コンクール  
5月31日締切り  
**募集中**です



第83回  
メーデー

## 賃上げと雇用確保で くらしの安全・安心を

4000人の労働者が参加した愛知県中央メーデー（白川公園）



上から尾張東、尾張中部、尾北地域、一宮地方、安城地区メーデーの様子



## 原発再稼働を許すな 全国に広がる運動

### 原発問題住民運動福井県連絡会 事務局長に聞く



林広員さん

5月5日、北海道電力の泊原発3号機が、定期検査のため運転を停止。日本で稼働する原発がゼロになりました。原発ノアの世論が、原発の再稼働に待ったを掛けています。大飯原発の再稼働反対の最前線であつた福井県を取材しました。

若狭湾、小浜湾と豊かな半島の先端に位置する大飯原子力発電所。原子力安全・保安院が、原発再開の条件となつているストレステストについて「妥当」とする見解を示し、再稼働に最も近い原発になっていきます。

政府は、ここを原発再開の突破口にしようとしています。もしここで原発事故が起これば、福井県だけでなく、近隣の京都や滋賀はもちろん、それ以上に被害は広がると考えられています。福井県のおおい町や美浜町から飛ばした風船が、岐阜や愛知に、さらには群馬や千葉にも届いたという結果が出ており、大飯

原発は決して福井だけの問題ではないことが明らかになっています。



「3.11さよなら原発福井県集会 in つるが」に集まる福井県民

政府が国民の安全を無視して利益を優先する姿勢を批判します。  
「3・11に開かれた『さよなら原発福井県集会 in つるが』では、福井県民が1000人も集まる、かつてない集会となりました。原発立地地域で行われた意味は大きい」と、原発運動の様子を語ります。

**自分たちの街のことを自分たちで考えよう**

福井市内では、「原発ゼロ」をめざす市民行進や県庁前で署名運動が展開されるなど、再稼働反対の動きが強まっています。

5月1日、第83回愛知県中央メーデーが、白川公園で行われ、4000人が参加しました。樽松佐一実行委員長は、国が安全より利益を追求する姿勢を批判して、「安全神話にしがみついてきた原発の事故が、今私たち国民を危機におとし



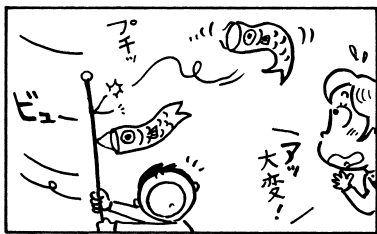
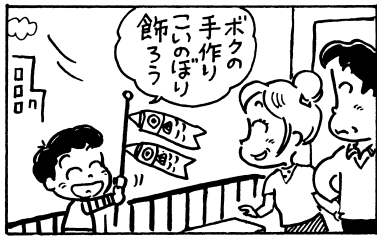
250名が参加した東三河

デー宣言が提案・採択され、市内を3つに分かれてのデモ行進が行われました。また県内6カ所でも地域メーデーが行われ、1500人が参加しています。

この大飯原発再稼働に反対している、原発問題住民運動福井県連絡会の林広員事務局長は、「福島原発事故の原因はまだ明らかになっていません。少なくとも事故の原因究明がされるまでは、再稼働するのはおかしい」と再稼働に反対する理由を語ります。「原発ゼロのまま夏をのりこえれば、政府がこれまで言ってきた、原発が無ければ電力不足に陥る」というウソが暴かれてしまうことを恐れ、「だから何としても夏までに、再稼働させようと



# 「言いたい劇場」 小菅りや子



**セット共済** 安くて安心

自治労連 掛金 1790円/月 → 病氣入院 5000円/1日



ペットボトルや牛乳パックが遊べるおもちゃに変身



昆虫クイズラリーで景品をゲット

# 私たちの仕事知って下さい! 第2回なごやかふれあいまつり

住民サービスの最前線を担う自治体の現業職場の仕事を知ってもらうとくみとして、「第2回なごやかふれあいまつり」が4月28日、若宮広場で行われました。

名古屋市中職員の現評のメンバーを中心に、豊橋市職労や春日井市職労など多くのなかまが参加して、ゴミ分別収集のとりくみや学校事務員の仕事紹介、国保の

相談コーナーなど市民に現業職場の仕事をアピール。その他にも、ゴミ分別クイズやサイクルおもちゃづくり、昆虫クイズラリーや小学校・保育園給食のレシピ紹介と試食会など、数多くのコーナーが設置されました。

会場には子ども連れの家族をはじめ、若者や年配の方まで幅広い層が数多く訪れ、クイズやおもちゃで遊んだり、給食を試食したりと活気ある交流の場となりました。

## 名古屋市中 全てまわります

国民健康保険推進員の田原静代さん(緑区役所)と大橋久美子さん(守山区役所)に仕事内容とともに、なぜ「なごやかふれあいまつり」とりくむのか、お話をうかがいました。

二人は、国保推進員の仕事について、「私たちは、名古屋市中を140人体制でもらすことなくまわっています。お宅を訪問することで、色々な事情が出てくるんです」と、地域に密着したその役割を語ります。

# 新しい仲間続々 各地で新採歓迎会

「会社を辞められて、社会保険から国民保険になることを知らない人もいる。保険料が高くて払えない人には、減免などの制度もある」と、ただ保険料を集金するだけではなく、訪問先の住民にに応じて、さまざまな制度の説明もするといいます。

二人は、「こういう場でふれあうことで、私たちの仕事をより理解してもらいたい」と語り、地域密着型の国保推進員の仕事の重要性を訴えました。



国保推進員の田原さん(右)と大橋さん(左)



にっこり集合写真(蒲郡)

蒲郡市職は4月27日、新人47人を迎えて開催。ビンゴで盛り上がり、「市民のためにがんばりたい」と明るい抱負も語りました。



他部署のなかまと交流(犬山)

春日井市職労は4月20日、新人16名が参加。よさこいソーランの踊りやビンゴで盛り上げました。



先輩と新人一緒にピース(春日井)

## 食べたいものも食べられない

### 最賃体験報告学習会

4月24日、生計費結果を春闘要求に活かそうと行われた、愛労連の最賃生活体験・家計簿チェックの報告学習会が開催され、20名以上が参加しました。

最賃体験者からは、「本を買つことも控え、生活を切り詰めた一ヶ月。健康で文化的な生活とはほど遠かった」「食費を抑えた生活はきつい。一ヶ月だから我慢したけど、毎月続けば先も見えないし自分への投資もできない」と報告。その後、グループ討論を

最賃署名広げよう確認

春日井市学校給食会労組 単組定期大会 役員紹介 (4月21日) 執行委員長 磯脇 秀宏 副委員長 松井 俊樹 書記 大脇 健司

# 平和・くらしに生かそう憲法

## 憲法施行65周年記念 市民のつどい

「憲法の平和的生存権は、戦争や諸外国との紛争に対してだけでなく、災害や放射能の恐怖から国民がまぬがれる権利を保障しており、原爆そのものが憲法違反だ。現行憲法がめざす、一人ひとりの個性が尊重される社会を実現するために、国民が主体的に行動する必要がある」と強調しました。

第2部では、チエルノブイリ原発事故で被ばくしたウクライナ出身の歌手・ナターシャ・グジーさんが、いまだに帰ることのできない故郷への思いとともに、故郷を奪った原発への怒りを込めて熱唱しました。



憲法施行65周年記念・市民のつどい、新しい国のかたちを問う「愛知憲法会議主催」が5月3日、名古屋市民公会堂で開かれ、会場あふれる2587人が参加。4階ホールに第2会場を設けるほどの関心の高さでした。つどいでは、伊藤塾塾長の伊藤真弁護士が講演

行い、「職場や地域で最賃署名を大きく広げるために、低すぎる最賃の問題を周りに広げていこう」と確認しあいました。